

推進方法クイズ

これはマーク式クイズです。正しい方に○をつけてください。

1	艇を明らかに推進させる効果のある1回の体の動きは禁止される。 規則42.1&基本4	正	誤
2	艇は他艇との接触を避けるためにスカリングすることができる。 基本3： この答えは、基本原則の規則42.1の中の「シーマンシップに基づいた行動」と対立すると不満を述べるセーラーもいるだろう。 混雑したスタート・エリアまたはマーク回航で、接触を避けるためのスカリングが許されている場合、多くの艇がスカリングし、接触を避けるためにスカリングしているのか、戦術的に有利になるためにスカリングしているのかを判定することは不可能であろう。 従って、そのような動きは例外規定には含まれておらず、規則42.2(d)に基づき禁止される。	正	誤
3	艇を明らかに推進する場合を除き、バテンを正しく返すために繰り返しパンプすることは許される。 規則42.3(e)： この規則は軽風下でジャイブした後にバテンが裏返り、1回の試みで正しく返らなかった場合の問題を解決するために施行された。	正	誤
4	風下に向かって帆走している場合、乗員は艇のローリングを止めなければならない。 ロック3： 乗員がローリングを誘発することは禁止されているが、バックグラウンド・ローリングを止めることは要求されていない。	正	誤
5	ベアリング・アウェイを容易にするために艇を風上側にヒールさせることは禁止される。 規則42.3(a)&ロック6	正	誤
6	各ロールでコースを変更すれば、平水面で繰り返し艇をロールさせることは許される。 ロック7： 規則42.3(a)の例外規定を繰り返し使うためには、波がなければならない。	正	誤
7	艇のヒールは、方向転換の量と一致しなければならない。 ロック6： 艇の方向転換を容易にするために、ロールさせることはできるが、大きなロールは大きく方向転換することを求められる。	正	誤

8	<p>軽風下でベアするために風上側にロールさせている間、艇の乗員がシートを1回パンプすることは常に許される。</p> <p>艇をロールさせることが許されていることとパンプが許されていることの間には関連はない。1回のパンプが許されるのは規則42.3(c)の状況になったときのみであるが、明らかに艇を推進するかレグの同じエリアで繰り返さなければ、ペナルティーは課されない。</p>	正	誤
9	<p>風上に向かうビートで、波にあわせて身体を前後に動かすことは許される。</p> <p>ウーチ 1 : メインセールに繰り返しのフリックを起こす動きは、ボディー・パンピングである。</p>	正	誤
10	<p>サーフィングとは急速に加速しながら波の前面を下ることである。</p> <p>規則42.3(C): これは「サージ」、1回のパンプの後のわずかな加速と混同されるべきでない。</p>	正	誤
11	<p>微妙なコンディションでプレーニングまたはサーフィングをしようとして、1回パンプすることは禁止される。</p> <p>パンプ 7 & パンプ 8 連続で3回失敗する試みは禁止される。</p>	正	誤
12	<p>サーフィングまたはプレーニング始めるために、どのセールでも引き込むことができる。</p> <p>規則42.3(c) どのセールでも、サーフィングまたはプレーニングする目的で1回引き込むことができる。</p>	正	誤
13	<p>すでにプレーニングしている時、サーフィングを開始するために、パンプすることは許されている。</p> <p>パンプ 1 2</p>	正	誤
14	<p>艇を推進または後進を止める効果の無い、ゆるやかな両側への舵の動きは、許される。</p> <p>規則42.2(d) ティラーがセンターラインを繰り返し通過することは常に禁止されているわけではなく、禁止されるかどうかは力強さと効果により決まる。</p>	正	誤
15	<p>艇がクロスホールドのコースよりも風上に向いており、クロズホールドのコースまで方向転換している場合、舵を力強く繰り返し動かすことは許される。</p> <p>規則42.3(d)、スカル 1 艇は明らかに方向転換していなければならない。</p>	正	誤

16	<p>マークに衝突した後、艇はそれから離れるためにスカリングすることができる。</p> <p>規則42.3(h) これは、スカリングしてマークを周ることを許すものではなく、許されるのはマークから離れるためのみである。</p>	正	誤
17	<p>タッキング中、クロスホールドのコースになったとき、乗員が艇を水平に起こすのが遅れた場合、大きく身体を動かすことを許す例外規定は適用されない。</p> <p>規則42.3(b)&基本6 例外規定はロールタックを許しているが、一旦クロスホールドのコースになると、艇が水平になったときに例外規定が適用されないように明らかに推進している場合、艇の乗員は規則42.1の基本原則に違反している。</p>	正	誤
18	<p>「O」旗が掲揚された場合、パンピング、ロッキングそしてスカリングが許される。</p> <p>付則P5(a) : スカリングは許されない。「O」旗が掲揚された場合の全ての例外はクラス規則により許可されなければならない。</p>	正	誤
19	<p>クラス規則による規則42の例外は、「R」旗が掲揚された時点で適用されない。</p> <p>付則P5(c): 艇が、「R」旗が掲揚されているマークを通過するまで適用される。</p>	正	誤
20	<p>風速がクラス規則の規定の制限を超えたときに、レース委員会が「O」旗を掲揚しそこなった場合、艇に救済を与えることができる。</p> <p>付則P4 救済の制限</p>	正	誤